

【H17年度】設計課題 「近隣の街並みに配慮した車庫付二世帯住宅(木造2階建)」

1. 設計条件

ある地方都市の住宅地において、近隣の街並みに配慮した車庫付二世帯専用住宅を計画する。

近隣は、道路に沿って生垣と十分な植栽が施された専用住宅(2階建)が立ち並び、街並みの美しい、緑豊かな住宅地となっている。

計画に当たっては、次の①～③に特に留意する。

- ① 前面道路の境界線に最も近い2階壁面は、1階壁面より後退させる。
- ② 自動車庫を同一棟内に設ける。
- ③ 敷地の道路側には生垣・植栽を設ける。

(1) 敷地

ア. 形状、道路との関係、方位、「生垣・植栽スペース」等は、下図のとおりである。

イ. 第一種中高層住居専用地域内にあり、防火・準防火地域の指定はない。

ウ. 建ぺい率の限度は60%、容積率の限度は200%である。

エ. 地形は平坦で、道路及び隣地との高低差はなく、地盤は良好である。

オ. 電気、都市ガス、上水道及び公共下水道は完備している。

(2) 構造及び階数

木造2階建とする。

(3) 延べ面積

必ず「180㎡以上、220㎡以下」とする。

(床面積については、自動車庫の部分は算入し、ピロティ、玄関ポーチ、駐輪スペース等は算入しないものとする。)

(4) 家族構成

ア. 親世帯:夫婦(70歳代)

イ. 子世帯:夫婦(40歳代)、子供2人(女子中学生、男子小学生)

(5) 所要室

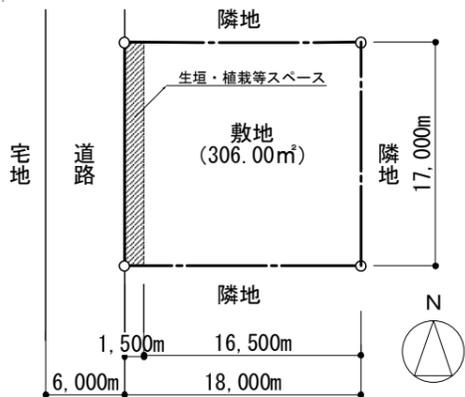
下表のすべての室は、必ず指定された設置階に計画する。

設置階	室名	特記事項	
1階	親世帯部分	夫婦室	・洋室13㎡以上とし、その他に専用の便所(広さは、心々1,200mm×1,500mm以上)及び収納を設ける。
		和室	ア、8畳とし、床の間及び押入れを設ける。 イ、客間としても使用する。
		玄関	
	共用部分	居間・食事室・台所	ア、2階への階段を設ける。 イ、洋室33㎡以上(階段部分を含む)とし、1室にまとめる。
		浴室	・3㎡以上とする。
		洗面脱衣室	・3㎡以上とする。
		便所	・広さは、心々1,200mm×1,500mm以上とする。
		納戸	・4㎡以上とする。
		自動車庫	ア、有効広さは、幅3m×奥行き5m以上とする。 イ、自動車庫の出入口にシャッターを設ける。 ウ、住宅部分と屋内で直接行き来できるようにする。
		(注)1階の廊下の幅は、心々1,200mm以上とする。	
2階	子世帯部分	夫婦室	・洋室13㎡以上とし、その他に収納を設ける。
		子供室(1)	・洋室9㎡以上とし、その他に収納を設ける。
		子供室(2)	・洋室9㎡以上とし、その他に収納を設ける。
		洗面所	・コーナーでもよい。
	便所	・広さは適宜とする。	

(6) 駐輪スペース

屋外に、駐輪スペース(3台分)を計画する。

敷地図



(注)生垣・植栽スペース(道路側の斜線部分)

ア. 敷地の前面道路に接する部分の長さの1/2以上の部分に生垣・植栽を計画する。

イ. 生垣・植栽以外は、「住宅のアプローチ」及び「門」に限り設けることができるものとする。ただし、「軒及びひさしの一部分」は突き出してもよい。

2. 要求図書

- a. 下表により、答案用紙の定められた枠内に記入する。ただし、寸法線は、枠外にはみ出して記入してもよい。
- b. 図面は黒鉛筆仕上げとする(定規をもちいなくてもよい)
- c. 記入寸法の単位は、mmとする。なお、答案用紙の1目盛は、4.55mm(矩計図にあつては10mm)である。
- d. シックハウス対策のための機械換気設備等は、記入しなくてもよいものとする。

要求図書 ( )内は縮尺	特記事項
1階平面図 兼 配置図 (1/100)	ア、敷地境界線と建築物との距離、建築物の主要な寸法を記入する イ、道路から玄関・自動車庫へのアプローチ、生垣、植栽、門、駐輪スペース等を記入する。 ウ、室名を記入する。 エ、台所設備機器(流し台・調理台・コンロ台・冷蔵庫等)、浴槽、洗面台、洗濯機、洋風便器を記入する。 オ、「通し柱」を○で囲み、「耐力壁」に△印を付ける。 (注)「耐力壁」とは、筋かい等を設けた構造上有効な壁をいう。(以下同じ) カ、矩計図の切断位置を記入する。
2階平面図 (1/100)	ア、建築物の主要な寸法を記入する。 イ、室名を記入する。 ウ、洗面台、洋風便器を記入する。 エ、「通し柱」を○で囲み、「耐力壁」に△印を付ける。 オ、1階の屋根伏図も記入する。 カ、矩計図の切断位置を記入する。
2階床伏図 兼 1階小屋伏図 (1/100)	ア、主要部材(通し柱、1階及び2階の管柱、胴差、2階床梁、桁、小屋梁、火打梁、棟木、小屋束、母屋・小屋束)については、凡例の表示記号に従って記入し、断面寸法(小屋束を除く)を凡例欄に記入する。 ただし、主要部材のうち、平角材又は丸太材としたものについては、その断面寸法を図面上に記入する。なお、根太及びたる木については記入しなくてもよい。 イ、その他必要に応じて用いた表示記号は、凡例欄に明記する。 ウ、建築物の主要な寸法を記入する。
立面図 (1/100)	ア、西側(道路側)立面図とする。 イ、生垣・植栽及び門については、記入しなくてもよい。
矩計図 (1/20)	ア、切断位置は、1階・2階それぞれの外壁の開口部を含む部分とする。(自動車庫の部分は除く)。 イ、作図の範囲は、柱心から1,000mm以上とする。 ウ、矩計図として支障のない程度であれば、水平方向及び垂直方向の作図上の省略は、行ってもよいものとする。 エ、主要部の寸法等(床高、天井高、階高、軒高、軒の出、ひさしの出、開口部の内法寸法、屋根の勾配)を記入する。 オ、主要部材(基礎、土台、柱、大引、1階根太、胴差、2階床梁、2階根太、桁、小屋ばり、母屋、たる木)の名称・断面寸法を記入する。 カ、床下換気口(又は、これに代わるもの)の位置・名称を記入する。 キ、アンカーボルト、羽子板ボルトの名称・寸法を記入する。 ク、外気に接する次の部分の断熱・防湿措置を記入する。 ・屋根(小屋裏が外気に通じている場合は、屋根の直下の天井) ・外壁 ・1階床 ・その他必要と思われる部分 ケ、室内及び内外の主要な部位(屋根、外壁、床、内壁、天井)の仕上材料名を記入する。
面積表	ア、建築面積、床面積及び延べ面積を記入する。 イ、建築面積及び床面積については、計算式も記入する。 ウ、数値は、小数点以下第2位までとし、第3位以下は切り捨てる。